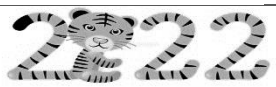
令和４年１月 12 日

コミュニティ・スクールだより

（令和３年度）
第２号
発行／国府小学校学校運営協議会



令和４年　壬寅（みずのえとら）の年がスタートしました。

壬寅は「厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる」そんなイメージを持つ干支です。コロナが収束し、以前のように「学校が子どもたちの元気いっぱいの声と笑顔に溢れ、思う存分学校生活が楽しめる」そんな明るい一年になることを願うばかりです。

コミュニティ・スクールとは・・・

学校運営協議会が設置された学校で、学校・地域・保護者が連携協力して「地域とともに生きる力を育む学校づくり」を進めていくための重要なしくみです。

学校運営協議会は年６回程度開催され、委員は「まちづくり協議会・自治会・学校支援ボランティア・民生児童委員・スポーツ関係者・PTA・地域コーディネーター・学校長」の 11 名で構成され、毎回熱心な熟議が行われています。

コミュニティ・スクールだよりでは、主にこの会議の内容報告や学校支援ボランティアに関する情報を掲載しています。

●これまでの学校運営協議会の報告

まだまだ、コロナの影響を色濃く感じる協議会でした

≪第３回　10 月 22 日(金)≫

子どもたちの様子
オンライン学習からようやく登校できるようになったが、子どもたちは姿勢が保持できない、集中力がないなど、コロナの影響を大きく感じている。

（国府小の子どもたちの弱み）

6 年の全国学力・学習状況調査から
- 国語
  文章の中心となる事柄を把握する
  目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表すこと
- 算数
  図形の問題の公式を正しく覚えていない
  問題文を読んで、場面をイメージする力が乏しい

生活や学習アンケートから
- 自分の思っていることや感じていることを言葉で表すことが苦手
- 自己肯定感が否定的な捉え方に変化
- 規則的な生活習慣が整っていない

●委員の意見
- **コロナ禍で、国府小の特徴である算数支援や夏・冬の学習会・家庭科支援など、ボランティアとの関りが無くなったことも大きいのではないか**
- **一度に多くの先生の異動があったことへの影響は少なくないのではないか。学校の雰囲気やボランティアとの関係も変わる。改善してほしい**
- **リーダー格の先生がいなくなったことも大きいのでは**
- **コロナで生活が不安定になった。仕方がないが、基本的な生活習慣はしっかり身に付けてほしい**
- **家庭での会話がどれだけあるのか、子どもとの過ごし方を考えてほしい**
- **自分だけゲームをしていないと友だちとの会話についていけないと子どもが言う**
- **読解力のある子、国語力のある子は算数もよくできる。家で本を読むことを指導してほしい**
- **早寝・早起き・朝ごはんの取組を復活してほしい**
- **コロナが、子どもの成長の大切な時期にどれだけ影響を及ぼしたのか、また取り戻すことができるのかが不安である**

≪第４回　12月1日(木)≫

コロナが少し落ち着いてきて、
日常の学校生活に戻りつつある
なぁと感じた協議会でした。

修学旅行の様子から

・誰も集合時間に遅れることなく、大きなトラブルもなく無事に終えることができた。
・ホテルスタッフへのあいさつやお礼のことばなど、気持ちの良い声掛けが絶賛され，国府小の子どもたちの心は確実に育っていると感じた。

子どもたちの様子

・コロナが落ち着いてきたことで、校外学習（獅子舞、府南寺、伊東牧場など）で、地域の皆様に大変お世話になった。
・本校のいじめアンケートでも「いじめられて，いやな思いをしたり，こまったりしていますか」と何人かが答えており，気になる回答をした子どもには聞き取りをしている。
・担任の先生（担任以外も）と児童の１対１の話し合いを行っている。

ビックリしたこと

・「携帯」を持っている子が 200 人以上
これは鈴鹿市の中で多い方！
・家庭学習時間
（3H 以上）全国平均　　－6 ポイント
（短い・していない）　＋15.2 ポイント
・ゲームの時間
（3H 以上）全国平均　＋9.8 ポイント

●委員の意見

・算数支援等、以前のようにできるようになって、子どもたちとのコミュニケーションが楽しく取れるようになった
・子どもたちがこれまでのように元気にあいさつをしてくれて、学校全体が明るくなった気がする
・なぜ、「携帯」を持たせている子が多いのか、家庭学習が短く、ゲーム時間が多いのか、調査する必要があるのではないか
・1 対 1 の話し合いは良い取組と思うので継続を

●学校運営協議会主催の冬の学習会

開催の是非については、賛否両論ありましたが、
１月６日と７日の二日間、二年ぶりに実施しました。54 名の申し込みがあり、ボランティアの指導者１８名で対応しました。学習会の様子は次号で紹介します。

●前期・後期児童会役員との懇談会

協議会委員と児童との恒例のワークショップを行いました。素晴らしい意見がいっぱいです！
テーマ～みんながあいさつを大切にして生活しているのはどうしてだろう？～

・人間関係を良くする・友だちと仲良くなれる・元気になれる・笑顔が増える・勇気がでる
・自分を知ってもらえる・あいさつは礼儀・気持ちよくなれる
・いつも見守ってくれている地区の人や近所の人へのお礼になる
・相手の状態がわかる・会話のきっかけになる・雰囲気がよくなる
・どんな人にでも言える言葉だから・地域の人が笑顔のなる

●委員の感想

・小学校の頃からワークショップを経験できることは将来の良い経験になるはず、ずっと続けてほしい・子どもの意見を聞くことで、新しい発見があり、まちづくりの大きなヒントになった・子どもたちから改めてあいさつの大切さを考えさせられた。

12 月 20 日に 10 名のボランティアさんと 6 年生が一緒にトイレ掃除を行いました
ピッカピッカになりました。
寒い中、ありがとうございました。

お気づきの点やご意見等
何でも結構です。
気軽にご連絡ください。

国府小学校　378-0538